

第1章 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、市民のみどりに関する満足度やみどりの施策に対する評価等に関する意見などを把握するとともに、その結果を施策の進捗管理や計画の策定・見直しに反映させることを目的とする。

2. 調査項目

調査項目	前回調査（H24）との比較が可能
1. 身近なみどりについて	
(1) 身近なみどり	○
(2) 身近なみどりの満足度	○
(3) 欲しいと思う身近なみどり	○
(4) 身近なみどりに期待する機能	○
2. 「杜の都」という言葉について	
(1) 「杜の都」を代表するみどり	○
(2) 「杜の都」という言葉から思い描くみどり	○
(3) 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度	○
3. これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて	
(1) 樹林地などの身近なみどりの保全について	
①自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性	○
②私有地のみどりの保全方法	○
③屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性	○
④屋敷林（居久根）や社寺林の活用の方向性	-
(2) 市街地の緑化について	
①重点を置くべき緑化箇所	○
②みどりの増加に必要な行政の取り組み	○
③緑化活動に必要な行政の支援	○
(3) 公園について	
①住まいの近くの公園の利用頻度	○
②住まいの近くの公園の役割	○
③住まいの近くの公園の満足度	○
④仙台市内で増やして欲しい公園	○
(4) 「都心部」と「住宅地」の街路樹について	

①街路樹の満足度	○
②街路樹に期待する機能	○
③高木の街路樹の管理	-
(5) 定禅寺通・青葉通のケヤキ（街路樹）について	
①街路樹の方向性	-
(6) 河川について	
①河川の身近さ	○
②水辺空間の利用に特に必要なもの	○
4. みどり豊かなまちづくりへの参加について	
(1) みどり豊かなまちづくりのために実践している活動	○
(2) みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動	○
(3) みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件	○
(4) みどり豊かなまちづくりに最も必要なこと	○
5. グリーンインフラについて	
①グリーンインフラという言葉の認知度	-
②グリーンインフラの考えを取り入れたまちづくり	-

3. 調査仕様

調査地域 仙台市全域

調査対象 満18歳以上の仙台市民

調査対象数 5,000人

抽出方法 令和元年8月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

調査方法 無記名の質問紙調査（郵送による配布・回収）

4. 調査期間

調査票発送	回収締切	集計対象
令和元年9月5日	令和元年9月27日	令和元年10月11日

5. 回収率

(1)全体の回収率

対象者数	有効回収数	有効回収率
5,000人	1,916票	38.3%

(2)属性別の回収率

①年代別回収率

	対象者数	有効回収数	有効回収率	
全体	全体	5,000人	1,916票	38.3%
	10代	121人	22票	18.2%
	20代	621人	107票	17.2%
	30代	775人	239票	30.8%
	40代	900人	288票	32.0%
	50代	801人	318票	39.7%
	60代	750人	384票	51.2%
	70代	596人	356票	59.7%
	80代以上	436人	181票	41.5%
	無回答	-	21票	-

②地区別回収率

	対象者数	有効回収数	有効回収率
全体	5,000人	1,916票	38.3%
青葉区	1,363人	548票	40.2%
宮城野区	897人	324票	36.1%
若林区	643人	222票	34.5%
太白区	1,087人	402票	37.0%
泉区	1,010人	400票	39.6%
無回答	-	20票	-

6. 報告書の見方

- ・調査数 (n=Number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答等の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため、構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多岐選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「無効・無回答」は、当該設問への回答がないもの及び当該設問における回答制限数（あてはまる番号1つに○、あてはまる番号3つに○等）よりも多くの回答があったものをあらわす。
- ・属性別に分析を行う際の分析軸「現在の住まい」については、「問4 現在の住まい」をもとにしている。「一戸建て」は「持ち家（一戸建て）」(1,063件)と「賃貸住宅（一戸建て）」(56件)を合算したものである。「集合住宅」は「持ち家（集合住宅）」(307件)と「賃貸住宅（集合住宅）」(388件)を合算したものである。それ以外の「社宅、官舎、寮」(39件)、「その他」(41件)については件数が少ないため、割愛する。
- ・属性別に分析を行う際の分析軸「居住年数」については、「問5 居住年数」をもとにしている。「5年未満」は「1年未満」(39件)と「1年以上5年未満」(136件)を合算したものである。